



様式第二号の九（第八条の四の六関係） （第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 4年 6月 30日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府豊中市新千里西町1-1-4

氏名 パナソニックホームズ（株）近畿支社

支社長 島村 光一

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6834-5049

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	パナソニックホームズ株式会社 近畿支社（吹田市管内事業場）		
事業場の所在地	吹田市管轄区域内		
事業の種類	06 総合建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目 4			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1750.000 t	全処理委託量	1750.000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	248.000 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1745.000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	5.000 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類)

別紙3のとおり

有貨物量

不燃物等発生量

排出量

自ら直接再生利用した量

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

項目	実績値
①排出量	
②+⑥自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した後再生利用した量

自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

自ら中間処理した後の残さ量

自ら中間処理により減量した量

自ら中間処理した量

④のうち熱回収を行った量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和2年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況										委託先による区分				⑫+⑬	⑭+⑮
コード	名称	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤⑥のうち熱回収を行った量(自ら熱回収を行った量)	⑦自ら中間処理した後の残存量	⑧自ら中間処理により減量した量	⑨自ら中間処理した後再生利用した量	⑩自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑪直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(全処理委託量)	①④のうち優良認定処理業者への処理委託量(優良認定処理業者への処理委託量)	②③のうち再生利用業者への処理委託量(再生利用業者への処理委託量)	③④のうち熱回収認定業者への処理委託量(熱回収認定業者への処理委託量)	④⑤のうち熱回収を行う業者への処理委託量(熱回収を行う業者以外の処理委託量)	⑫+⑬	⑭+⑮
		100	燃え殻								0.000						
200	汚泥								0.000							0.000	0.000
300	廃油								0.000							0.000	0.000
400	炭酸								0.000							0.000	0.000
500	炭アルカリ								0.000							0.000	0.000
600	廃プラスチック	3.375	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3.375	1.645	3.375	0.000	0.000	0.000	0.000
700	紙くず								0.000							0.000	0.000
800	木くず	165.970	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	165.970	121.920	165.970	0.000	0.000	0.000	0.000
900	繊維くず	1.500	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1.500	0.000	1.500	0.000	0.000	0.000	0.000
1000	動植物性残渣								0.000							0.000	0.000
1100	ゴムくず								0.000							0.000	0.000
1200	金属くず								0.000							0.000	0.000
1300	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1.870	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1.870	1.200	1.870	0.000	0.000	0.000	0.000
1400	紐さい								0.000							0.000	0.000
1500	がれき類	634.880	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	634.880	179.000	634.880	0.000	0.000	0.000	0.000
1600	動物の糞尿								0.000							0.000	0.000
1700	動物の死体								0.000							0.000	0.000
1800	ばいじん								0.000							0.000	0.000
2000	建設混合廃棄物	14.662	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	14.662	0.962	14.662	0.000	0.000	0.000	0.000
2020	管理型建設混合廃棄物	94.604	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	94.604	17.914	94.604	0.000	0.000	0.000	0.000
2022	解体系混合廃棄物	4.330	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	4.330	0.000	4.330	0.000	0.000	0.000	0.000
2440	がれき類(工作物の断片、改修又は除去に伴って生じた不燃物)(石炭含有産業廃棄物)	10.360	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	10.360	10.360	10.360	0.000	0.000	0.000	0.000
	合計	931.551	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	931.551	322.641	931.551	0.000	0.000	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。

※数量に記述は、小数点以下の桁表示として記入してください。

様式第二号の九の第二面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①～⑮)に示す量を表に入力。